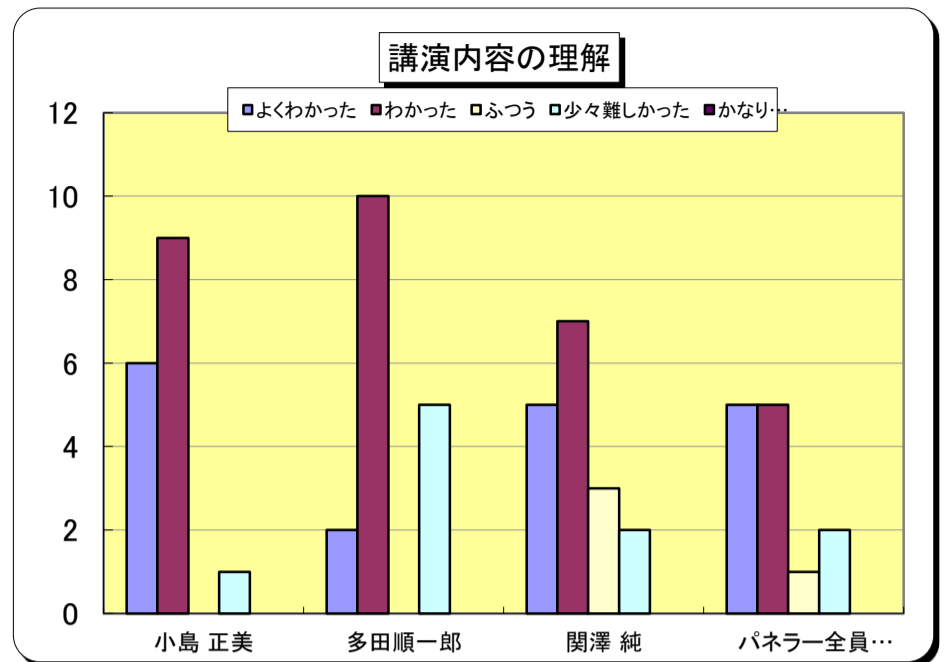
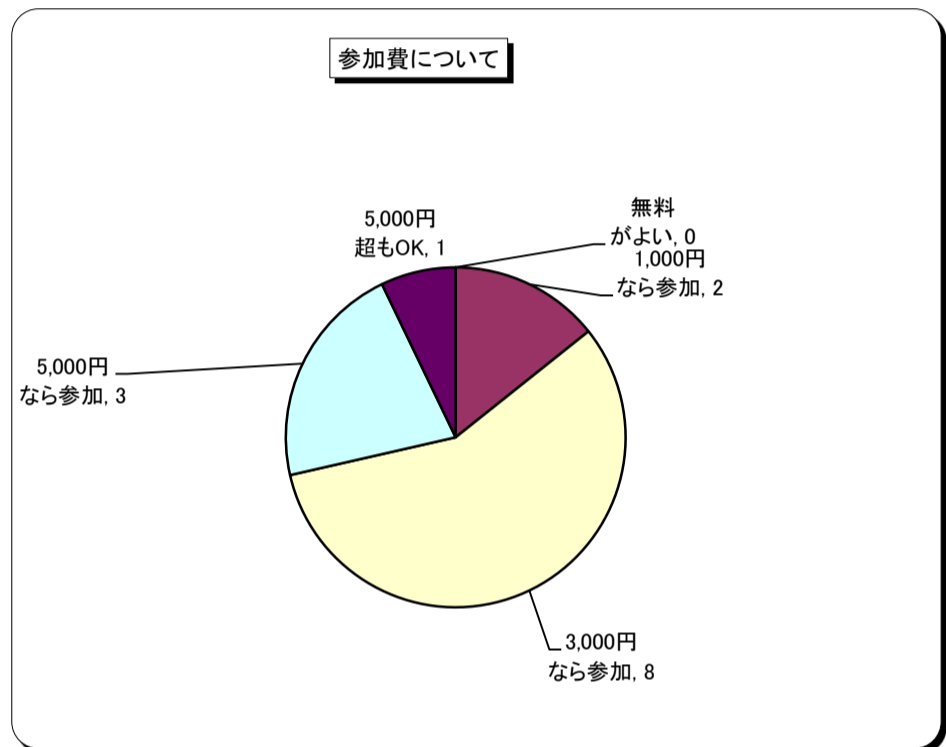


アンケート回収数17枚(参加者:46名、演者4名を除いた回収率:40%)

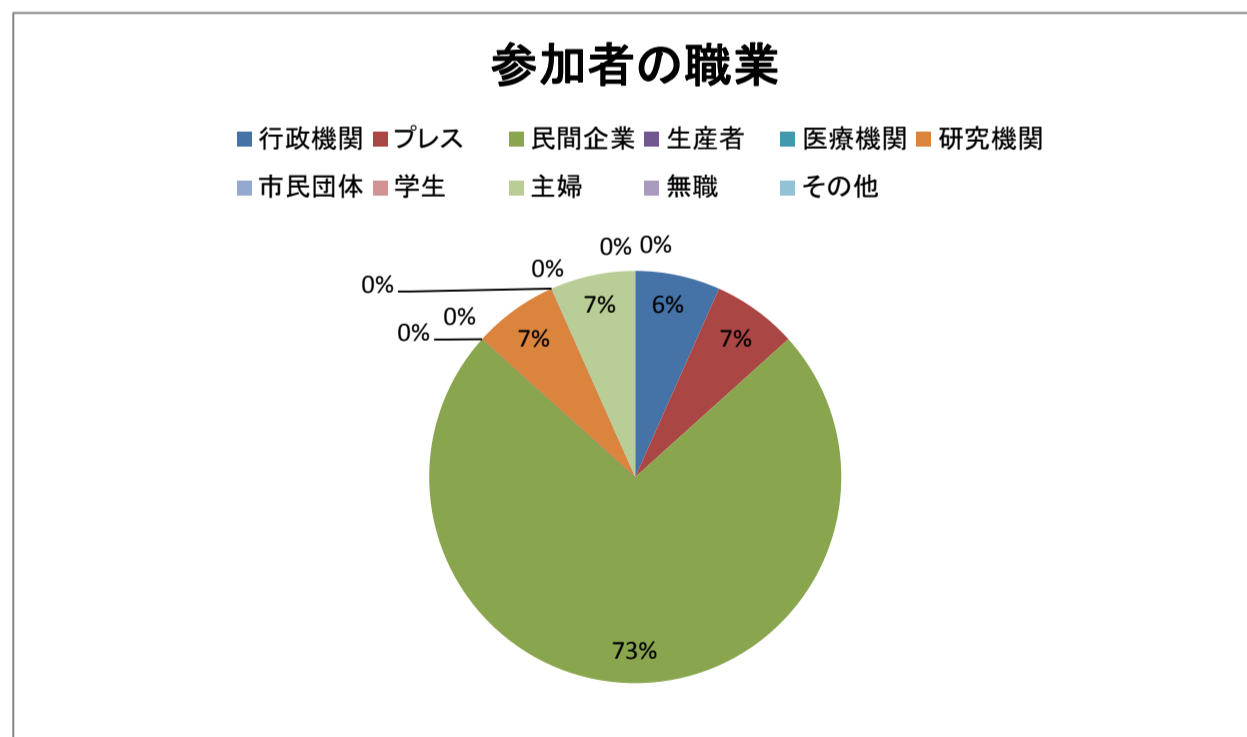
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	メディアのリスク報道を考える	小島 正美	6	9	0	1	0
2	放射線被ばくや食品汚染をめぐる対話の経験	多田 順一郎	2	10	0	5	0
3	リスク・コミュニケーションのパラダイムシフトが必要だ!	関澤 純	5	7	3	2	0
4	パネル・ディスカッション:『市民の食の安全・安心につながるリスコムとは』	パネラー全員 進行:山崎	5	5	1	2	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどう思われますか?	0	2	8	3	1
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でも教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
市民の食の安全・安心につながるリスコムのために、いま何が必要でしょうか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOからメルマガ(ご案内メール)を不定期に発行しております。無料購読を希望の方はメールアドレスをご記入ください。	(別紙)				



職業	
行政機関	1
プレス	1
民間企業	11
生産者	0
医療機関	0
研究機関	1
市民団体	0
学生	0
主婦	1
無職	0
その他	0



1	メディアのリスク報道を考える	小島 正美
1	少数の活動が全体を支配することの恐ろしさ。欧米の政府がこれに対応できることは、過去の全体主義に対する反省もあるので、感度が高いのでは？	
2	メディアによって表現がこれほどちがうとは驚きでした。市民団体って報道の自由をおびやかすコワイ存在だったんですね。	
3	記者のころもちが少し判りました。	
4	もう少し講演時間が長い方が良かったかと思えます。	
5	市民団体に褒められると..納得したくないですが、納得です。	
7	様々な記事を見ていると、記者の調査不足・勉強不足が伺えるものが多々あります。その部分に関してはどうなのか聞きたかった。	
8	記者の行動心理を知ることが出来て良かった。メディアをどのように扱うか、良い所・悪い所があることを理解した。	
10	新聞各紙の報道内容の違いが具体的でわかりやすかった。報道の自由、正確性、公平性を重視してほしいです。	
12	メディア発信は影響が大きい為、イメージの固定化につながり、反論情報は一部の人が知らない(気づかない)	
13	市民団体の活動等、実際のメディアの現場の話が興味深かった。	

2	放射線被ばくや食品汚染をめぐる対話の経験	多田 順一郎
1	Svの正体がよくわからない。切口とりては、Bqが体内からの量が多いこと、今の弊害、今後のコミュニケーション方法でしょうか？	
2	リスクの大きさと費用を勘案してモニタリング検査体制や除染の見直しがあればいいなと思いました。	
3	目からウロコが落ちて落ちない気持ち悪い状態です。⇒勉強が必要 重要そうな配布外のスライドがあり、少し不満です。HPIにUPする時には、よろしくお願いします。	
4	自分の説明の仕方にスタイルが似ているので参考になりました。	
8	誤解があることを知った、(内容はムズカシイけれど)表現の自由という言葉で現状がどういうものか理解した。	
10	放射線の安全と安心のテーマが、食品以上にむずかしいと感じました。私も「ゴジラ」とかで、すりこまれたかもしれません。	
12	リスクを比較すると、より低いものを求めてしまう。数字が害になるときもある。	
13	最終的な解決法が知覚の中でも客観的・評価的な反応に寄っており、イメージ的・情緒的反応が考慮されていないのが気になりました。	
16	教育で正しい知識を教えるとしても、その為のインフラをどう整えていくか？今後の課題になりそうですね。	

3	リスク・コミュニケーションのパラダイムシフトが必要だ！	関澤 純
1	・地元の結束を支援する方法が必要と思いました。 ・小池知事は、都が説明責任を取れることを知っていましたね？	
2	パラダイムシフトという言葉がわかりにくかった。リスクコミュニケーションは奥が深いというか理解しきれないものですね。 ⇒関澤先生より 「パラダイムシフト」の意味が適切に受け止められたかと分かりませんが、最後の方のスライドにまとめたように、 (1)国内で「リスクコミュニケーション」と言いつつ、広く行われている「科学コミュニケーション」あるいは情報伝達手法の工夫と「リスクコミュニケーション」は明らかに異なり、「リスク」の内容は科学的事実以外の生活、生命、生き方までも関係するとの理解が必要で、したがって (2)「リスク」の「コミュニケーション」の主人公はリスクを受ける人々であり、リスク管理に責任ある専門家、行政、事業者はリスクを受ける立場の人々の適切なリスク軽減や回避を支援すべき役割を持つことを提示しました。	
3	重要そうな配布外のスライドがあり、少し不満です。HPIにUPする時には、よろしくお願いします。 いじめにあったのは、いわき市だけではないのでしょうか？(出身者より) ⇒関澤先生より (1)「いじめを受けたケースはいわき市」だけでなく、神奈川県でも自殺に追い込まれそうになった子供の手記が公表されましたが、同様な事例はあちこちでありました。ただしここではインタビューで直接ヒアリングした内容の紹介をしています。 (2)いくつかの写真を含めすべてのスライドを配布資料にしないのは、現在インタビューの記録と調査のまとめを論文として投稿準備中のため、すでに公表した内容は論文に引用しにくくなる制約のため配布しない部分が生じ、悪しからずご理解ください。	
4	居住の自由は憲法22条ではないでしょうか。また半減期8日の放射性ヨウ素は3ヶ月で五千分の1や1万分の1というのも計算が合いません。 ちなみに宇和島には原発はないはず。新聞記事だけでなく、まずファクトチェックを！ ⇒関澤先生より (1)スライドでは「居住の自由」を憲法22条以外から記載していませんし、セミナー前日に基本的人権の内容を条文中で確認しており、憲法22条の「居住・移転の自由」について引用したはず。 (2)ヨウ素の半減期をほぼ8日として計算すれば、約3ヶ月目の96日目で4096分の1になり、次の8日で8192分の1となるはずであり計算はあっています。 (3)「宇和島に原発がある」と話した覚えはありません。ただし伊方原発は愛媛県の宇和海に突き出た佐田岬半島にあることは事実です。 (4)スライドでは新聞記事の引用はしておらず、直接実施したインタビューの記録や収集した国などの資料から作成しており、「新聞記事だけ引用」のような批判はお門違いを思います。	
8	福島現状を知ることが出来て良かった。	
10	講師の思いに強く感銘しました。 ⇒(8,10のご意見に対して)関澤先生より ありがとうございます。手弁当で現地へ赴き被災者の会合に出席し、「専門家として説得するのではなく、被災者の方々と対話を重ねて」います。	
11	特に「科学コミュニケーションとリスクコミュニケーションを混同しない」という話は参考になりました。	
12	その時その時で、どうすべきか考えるのは難しい。	
13	リスクコミュニケーションの考え方、それによる利点等が分かりづらかったです。	
16	豊洲は犯人さがしに止めず、その先にある真因を明らかにして今後につなげるように進めていってほしいと思います。	

4	パネル・ディスカッション：『市民の食の安全・安心につながるリスコミとは』	パネラー全員 進行：山崎
---	--------------------------------------	-----------------

- | | |
|----|---------------------------------------------------------------------|
| 1 | 除染の実態や行政のやり方も勉強になった。まとめの対話の話がよかった。ファクトチェック大切ですね。 |
| 8 | 放射線は色々とからみあっていてムズカシイ。SNS等の活用の仕方、子供への教育、子供・大人の情報の受けとめ方の違いがあることを理解した。 |
| 10 | ご質問の「五感」という言葉がわかりやすかった。 |
| 11 | 質問を土台として有益な意見交換がなされていたと感じました。 |
| 12 | リスコミは近年勉強中。相手を説得するものではないと、よく聞きます。 |
| 16 | いろいろな課題があり困難とは思いますが、本日のテーマのときの懇親会では、福島食材を使えたら良かったかと思います。 |

5	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。
---	-------------------------------------

- | | |
|----|--------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 少数のマスコミ支配は、生命に関わる弊害を生む。リスコミの正しい方法論や市民団体の暴走の抑制は急務と思う。今回も重要なテーマですね。 |
| 2 | 新聞は複数社、目を通そう。放射線のシーベルトについて私はちゃんと理解できていなかった。 |
| 4 | パネルディスカッションではフロアが再質問できるような運営にしていきたい。 |
| 8 | 色々勉強になりました。 |
| 11 | それぞれの立場からリスクコミュニケーションに関するお話を伺え参考になりました。 |
| 12 | タイムリーな情報発信の難しさ。あとからでは、うまくいかない。 |
| 13 | スライドが全て役所的な文字の多いもので、パッと見て理解できなかった。 |
| 14 | よい企画だと思いました。 |
| 15 | フクシマ関係大変ためになりました。2011年夏、「賢く恐れること」が大事と福島食品工場長が繰り返しておられた。改めて深意をかみしめた一日でした。 |
| 16 | 大変興味深く、広く浸透させなければいけないテーマでした。正しい知識を広げるために国や企業はどうすべきか考えてみたいと思います。 |

6	今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？
---	-----------------------------------------

- | | |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 市民団体の暴走の抑制・制御 自体と思います。 |
| 2 | 安心のために何が必要か。漠然とした不安をなくすには、どうしたら良いか。 |
| 9 | 腸管出血性大腸菌は何故恐ろしいのか？について |
| 11 | 遺伝子組換え食品について |
| 12 | 近年フリーフロムという言葉が出てきて「疑わしいものは使わない(科学的ではなく、なんとなく疑わしい)」となってきています。困った考え方だと思っています。 |
| 13 | 消費者の心理的なイメージ・情緒的な不安感の払拭について |

7	市民の食の安全・安心につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか？
---	--------------------------------------

- | | |
|----|-----------------------------------------------------------------------|
| 1 | ①SNSで味方をつくる②正しいリスコミは人を救うことを広める③発信者は結束して勇気を持って発言する。 |
| 11 | 特にアカデミアからの情報提供が重要ではないかと思っています。メディアや一般の方の認識では、半世紀前の知見が流布している場合もありますので。 |
| 12 | 両論をしっかりと伝え、どっちが主流かも語ること。 |
| 13 | 食の安全・安心を成功させた事例の共有 |